

目的：第4回試行実施に向けて、令和5年6月の有識者会議において議論した「これまでの試行実施を踏まえた改善案（論点）」を踏まえ、調査のフィージビリティや実効性を高めるべく事前に大学向けのアンケートを行う。

調査時期：令和5年9月29日（金）～令和5年10月31日（火）

- 質問項目：
- 第4回試行実施への参加・不参加と参加する場合の調査方法
 - 不参加の理由
 - それぞれの調査方法を選択した理由
 - 削除してもよい問
 - 各大学の実施希望時期
 - これまでに行ってきた試行実施における学生への案内方法
 - これまでに行ってきた試行実施における結果の活用方法（情報公表、教学IR）

<全体の回答状況>

区分	回答校数	回答率
大学 (812校)	655校	80.7%
短期大学 (302校)	211校	69.9%
合計 (1,114校)	866校	77.7%

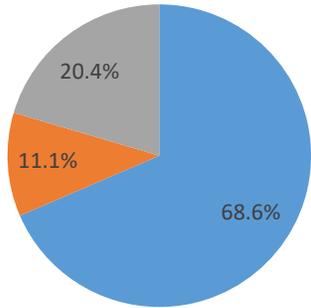
<設置者別の回答状況>

区分	回答校数	回答率
国立 (82大学)	81大学	98.8%
公立 (117大学)	93大学	79.5%
私立 (915大学)	693大学	75.7%

参加予定

参加予定（大学・短大）

参加状況（総計）

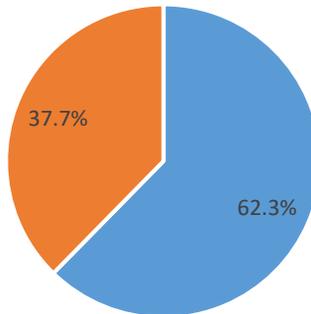


■ 参加 ■ 検討中 ■ 不参加

※百分率の母数は回答校数

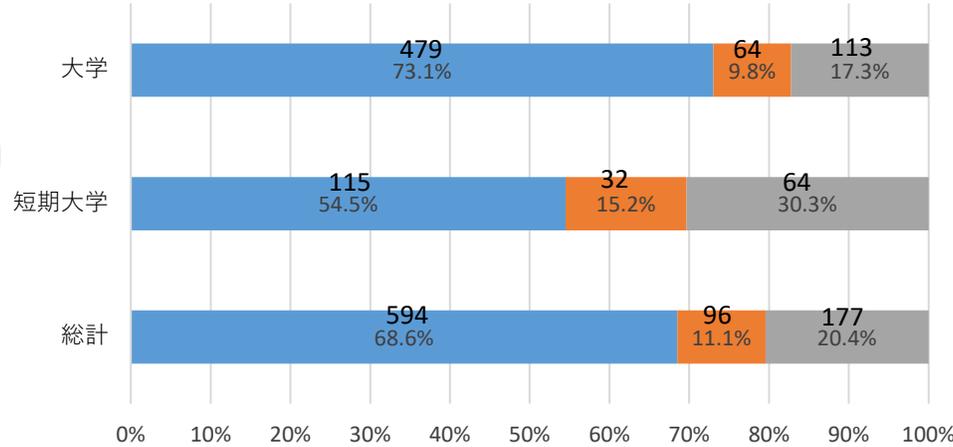
【参考】参加状況（第3回）

参加状況（総計）※第3回



■ 参加 ■ 不参加

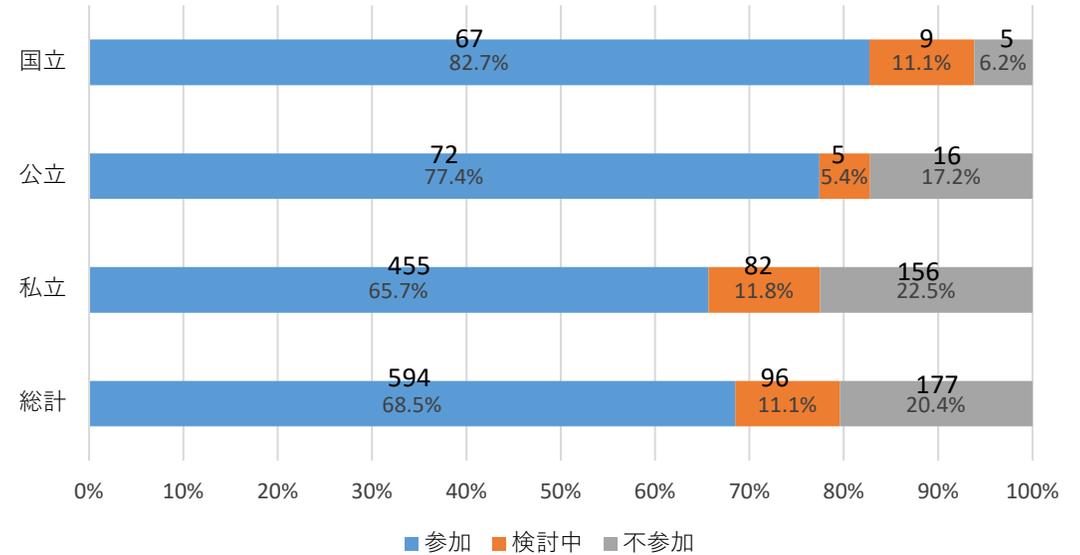
参加予定（大学・短大）



■ 参加 ■ 検討中 ■ 不参加

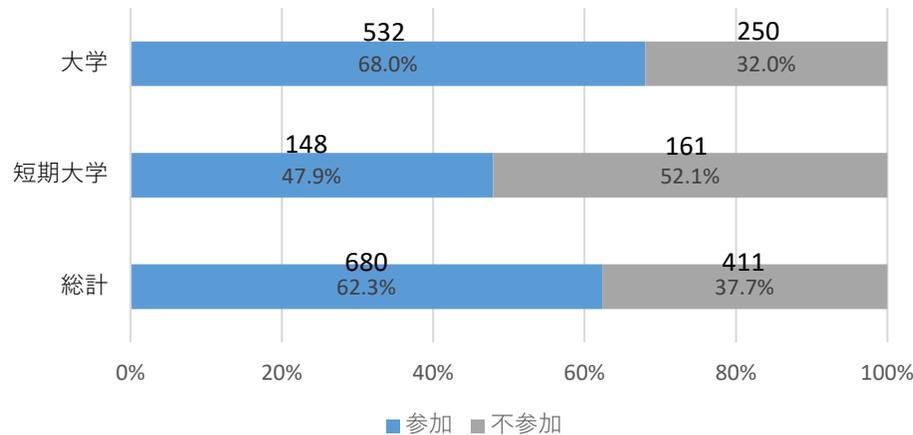
参加予定（国公私別）

参加予定（国公私別）



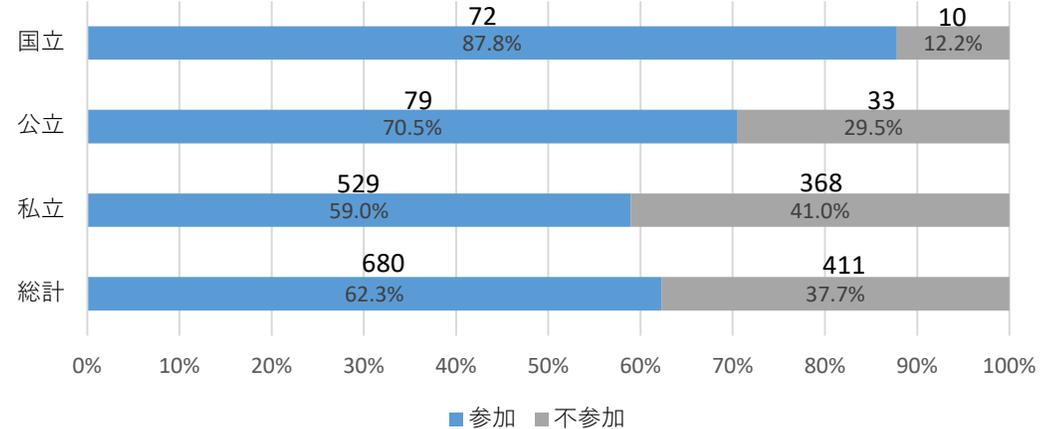
■ 参加 ■ 検討中 ■ 不参加

参加状況（大学・短大）※第3回



■ 参加 ■ 不参加

参加状況（国公私別）※第3回



■ 参加 ■ 不参加

参加予定（調査方法別）

参加大学が以下の調査方法①～②から選択

- ①文部科学省が実施するインターネット（WEB）調査（文部科学省が指定するURLに学生が直接回答）
- ②参加大学が実施する学生調査（大学独自の学生調査の中に本調査の質問項目を設定）

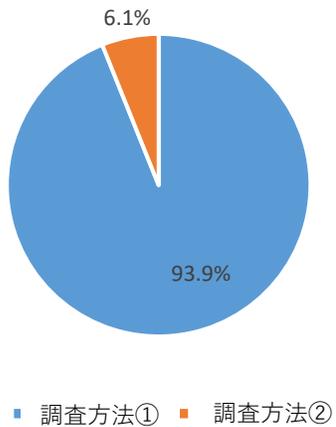
《留意点》調査方法②について

- ・各大学において、調査結果を取りまとめ、文部科学省が指定する期日までにデータ等を提出する。
- ・データ等の提出にあたっては、文部科学省が別途指定する様式にて提出する。

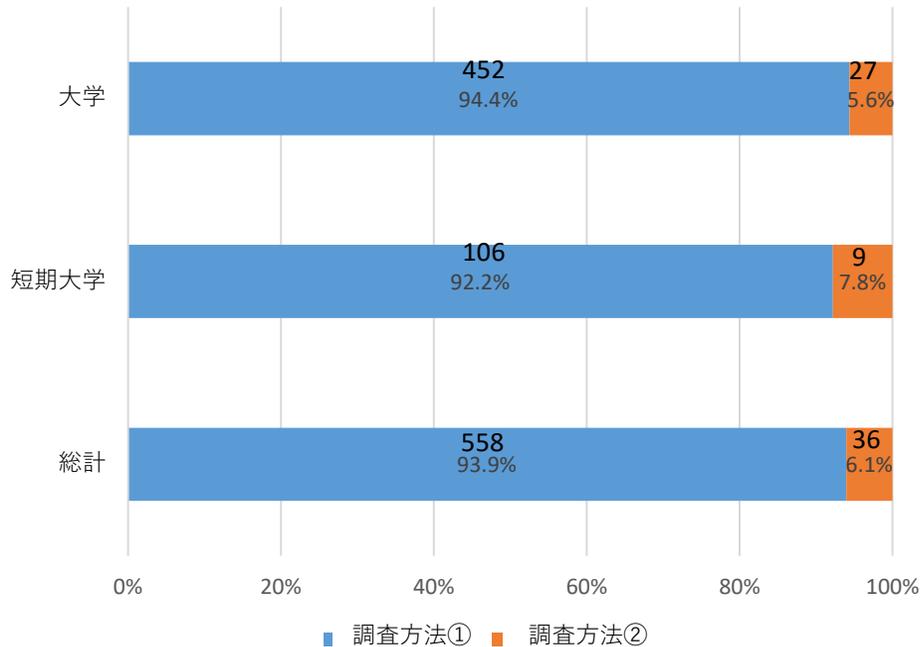
調査方法別（大学・短大）

調査方法別（国公私別）

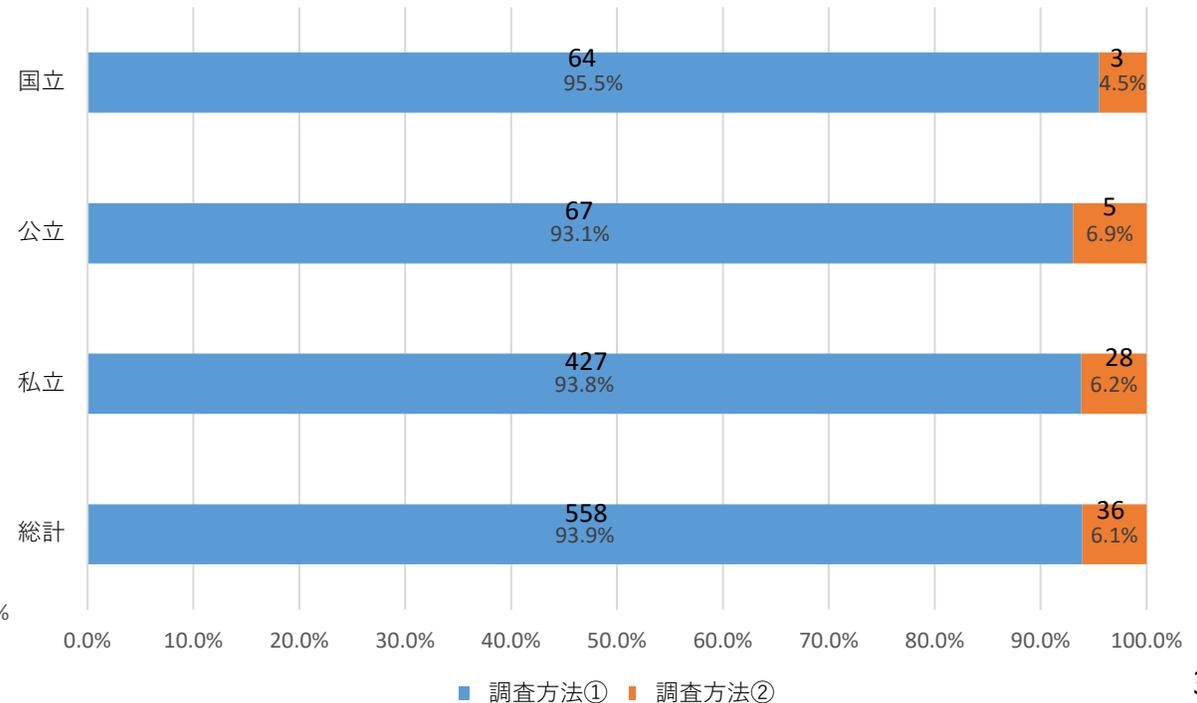
調査方法別（総計）



調査方法別（大学・短大）



調査方法別（国公私別）

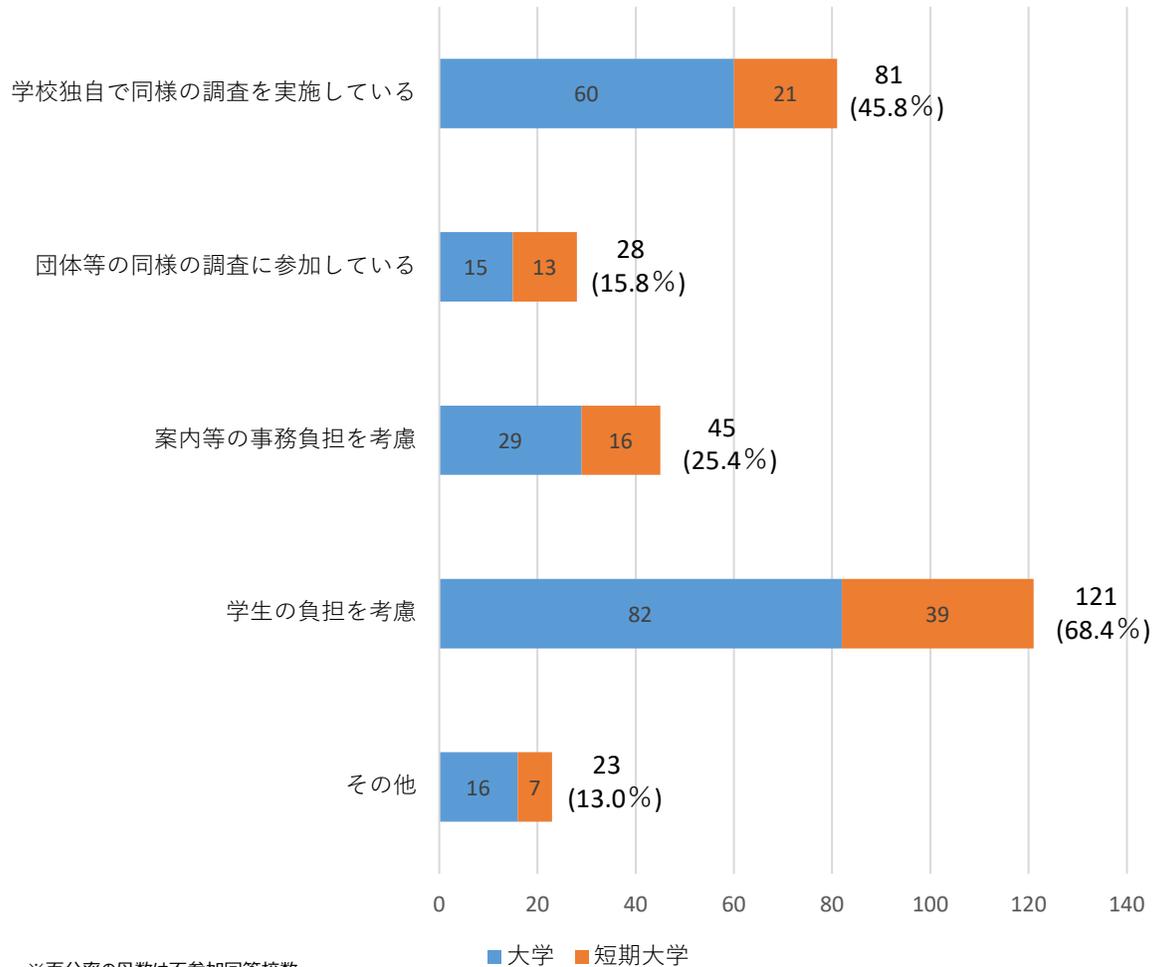


※百分率の母数は参加回答校数

不参加の理由

不参加の理由（大学・短大）

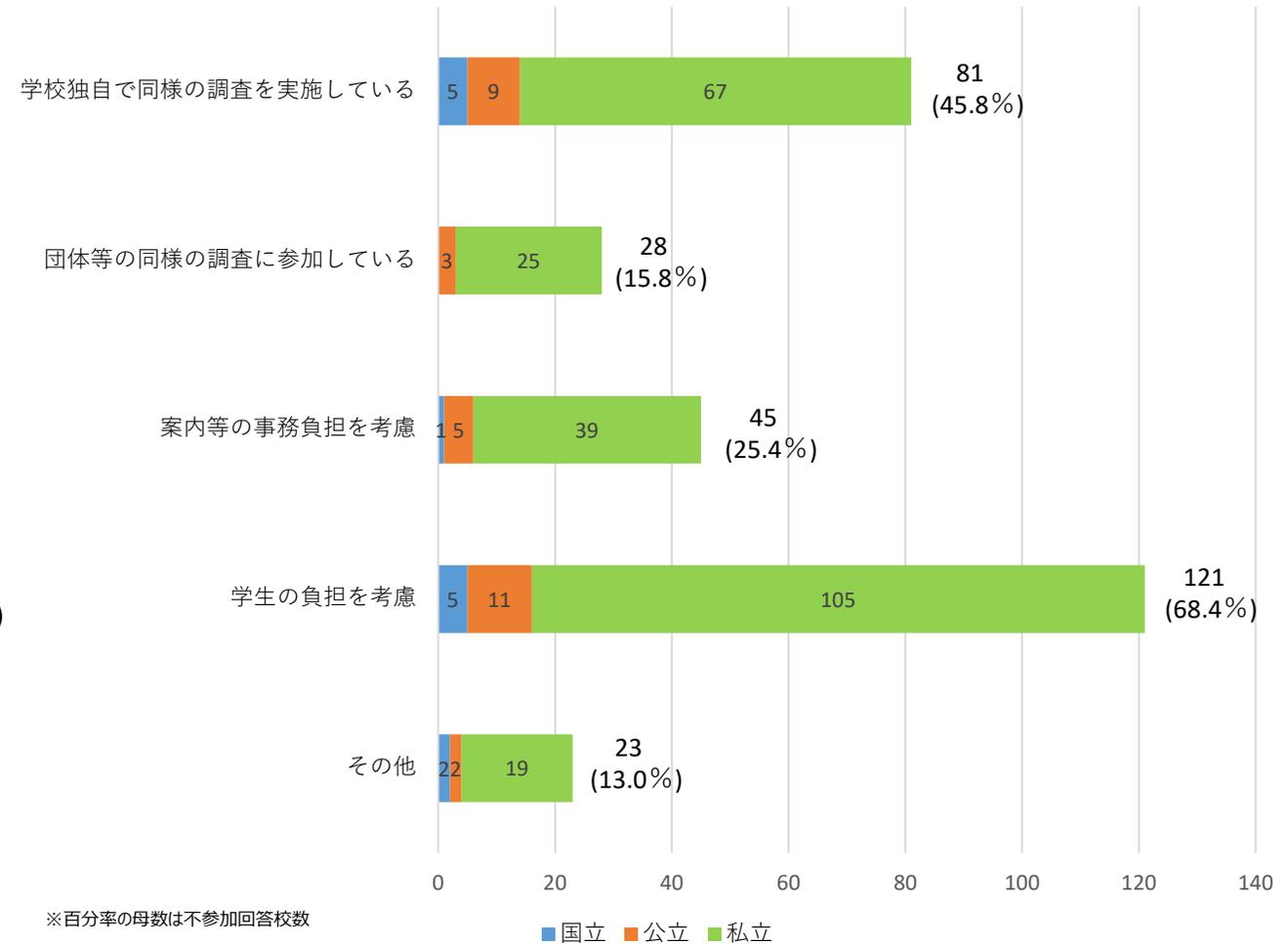
不参加の理由（大学・短大）



※百分率の母数は不参加回答校数

不参加の理由（国公私別）

不参加の理由（国公私別）

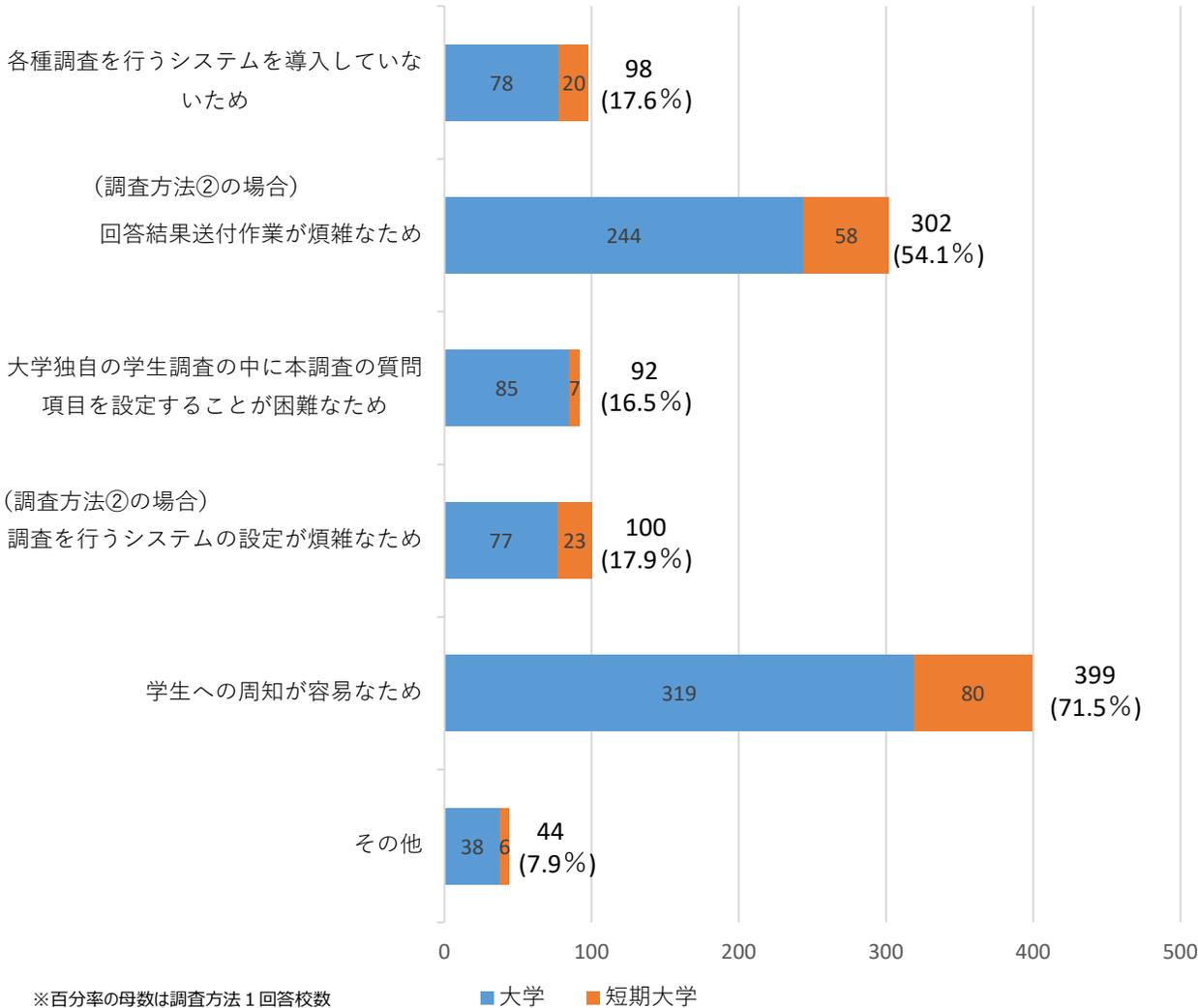


※百分率の母数は不参加回答校数

調査方法①の選択理由

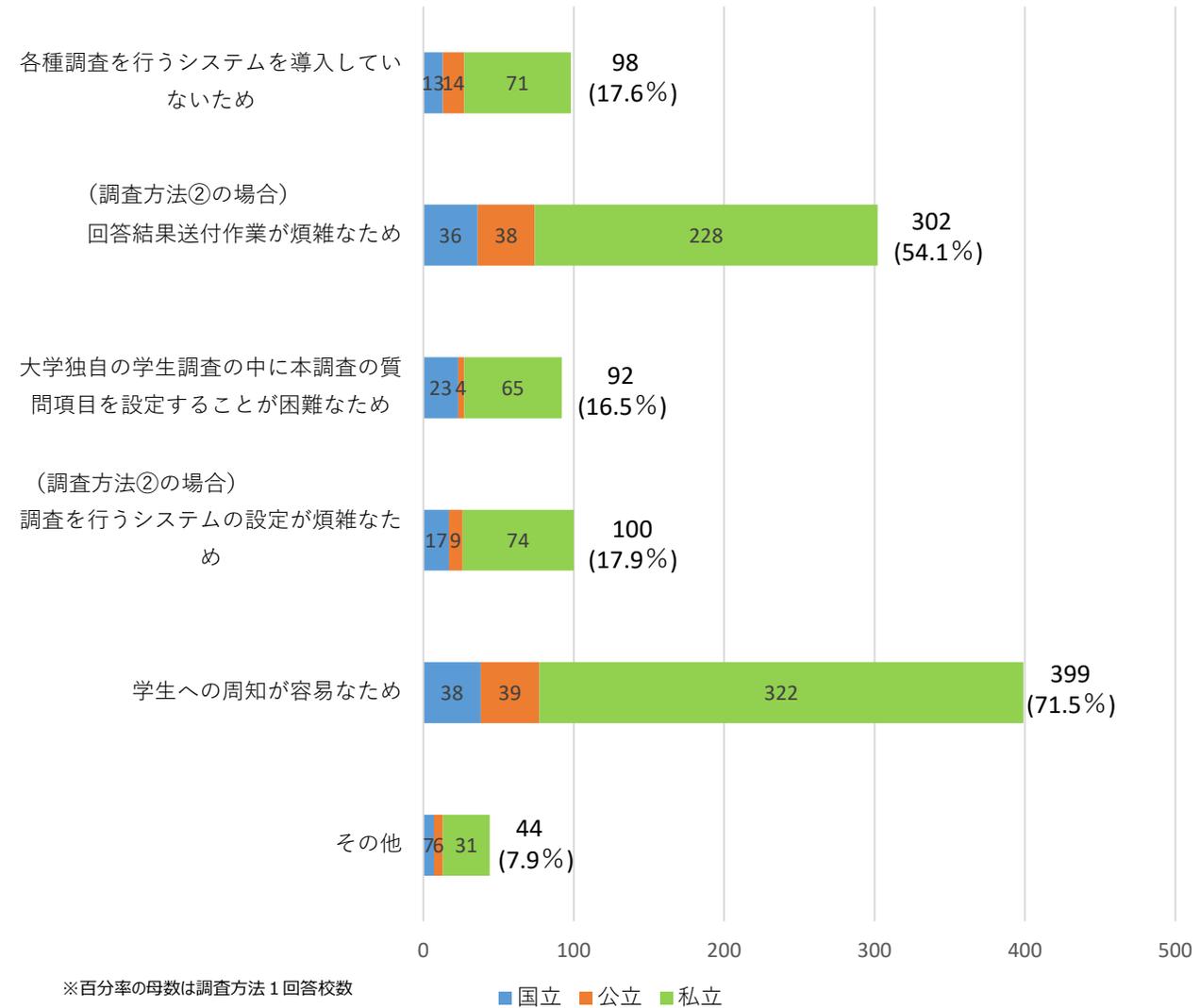
調査方法①の選択理由（大学・短大）

調査方法①の選択理由（大学・短大）



調査方法①の選択理由（国公私別）

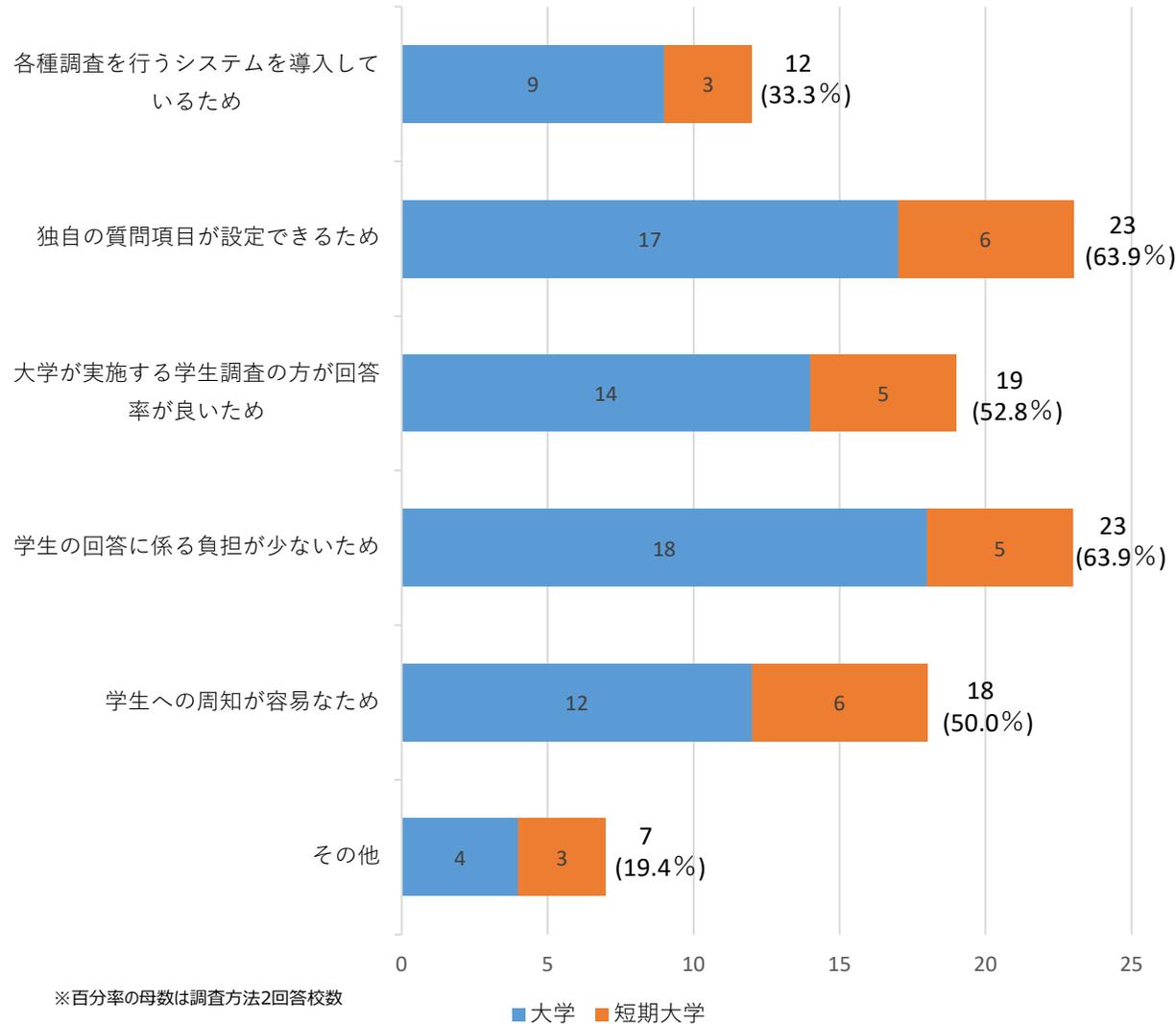
調査方法①の選択理由（国公私別）



調査方法②の選択理由

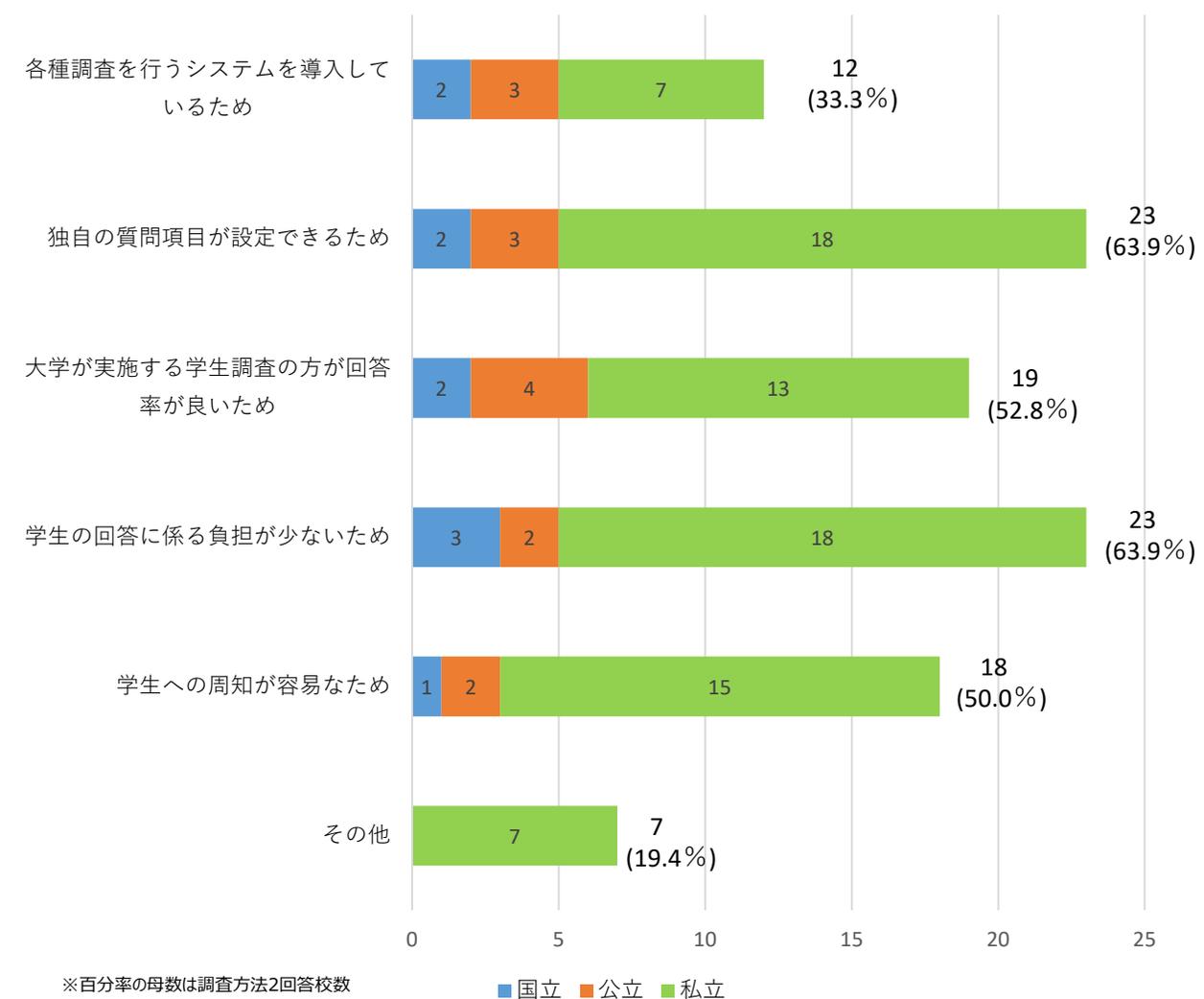
調査方法②の選択理由（大学・短大）

調査方法②の選択理由（大学・短大）



調査方法②の選択理由（国公私別）

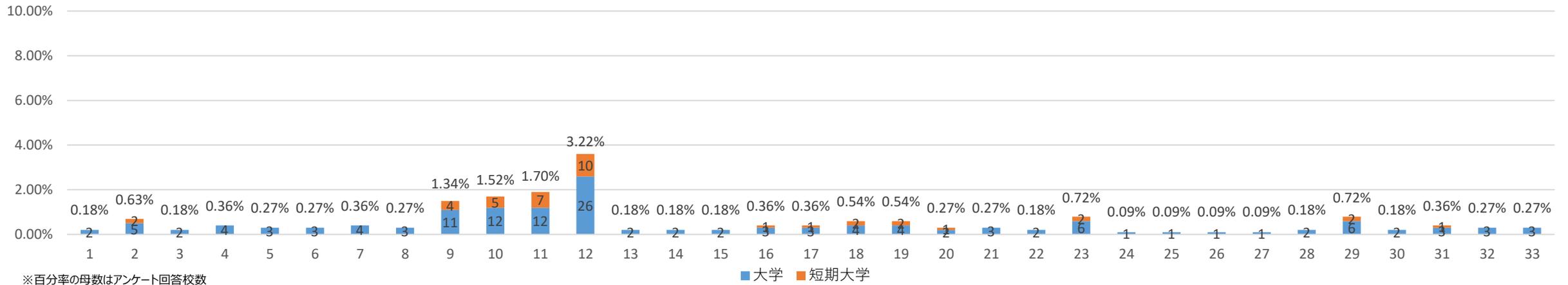
調査方法②の選択理由（国公私別）



削除してもよい問

削除してもよい問（大学・短大）

削除してもよい問（大学・短大）

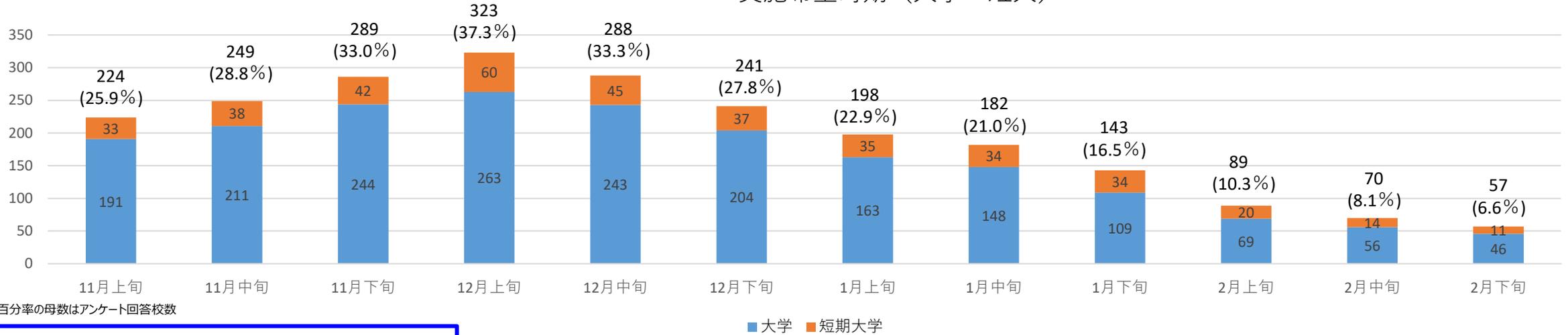


- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. あなたが在籍する学部（学科）を選択してください。 2. 学部（学科）の分野を選択してください。（自動表示） 3. あなたの学年を選択してください。 4. 理解がしやすいように教え方が工夫されていた。 5. 予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示される。 6. 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される。 7. グループワークやディスカッションの機会がある。 8. 質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある。 9. ティーチングアシスタントなどによる補助的な指導がある。 10. インターンシップ（5日間以上） 11. 海外留学・海外研修（短期も含む） 12. 主に英語で行われる授業の履修（語学科目を除く） 13. 専門分野に関する知識・理解 14. 将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観 15. 文献・資料を収集・分析する力 16. 論理的に文章を書く力 17. 人に分かりやすく話す力 | <ol style="list-style-type: none"> 18. 外国語を使う力 19. 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能 20. 問題を見つけて解決方法を考える力 21. 多様な人々と協働する力 22. 幅広い知識、ものの見方 23. 異なる文化に関する知識・理解 24. 大学から卒業時まで学生が身に付けるべき知識や能力が明示されている。 25. 授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている。 26. 教職員が学生と向き合って教育に取り組んでいる。 27. 大学での学びによって成長を実感している。 28. 授業への出席（実験・実習、オンライン授業を含む） 29. 卒業論文・卒業研究・卒業制作（Q3で2年生を選択すると非表示） 30. 予習・復習・課題など授業に関する学習（卒業論文等は除く） 31. 授業と直接関係しない自主的な学習
(学問に関係する読書やディスカッション、実技の練習、資格試験の勉強等) 32. 部活動／サークル活動 33. アルバイト／定職 |
|---|--|

実施希望時期

実施希望時期（大学・短大）

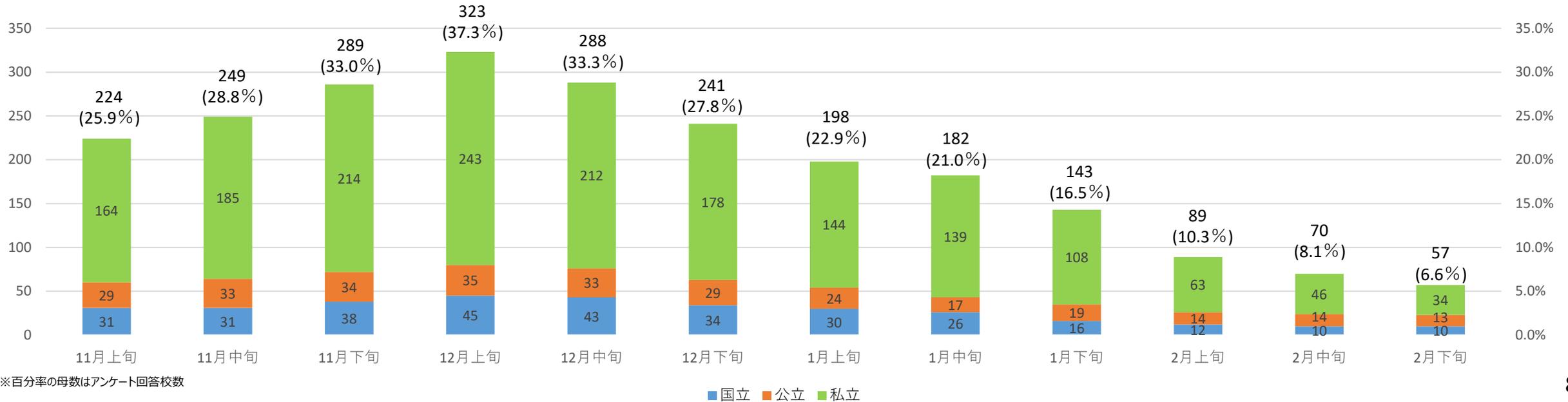
実施希望時期（大学・短大）



※百分率の母数はアンケート回答校数

実施希望時期（国公私別）

実施希望時期（国公私別）

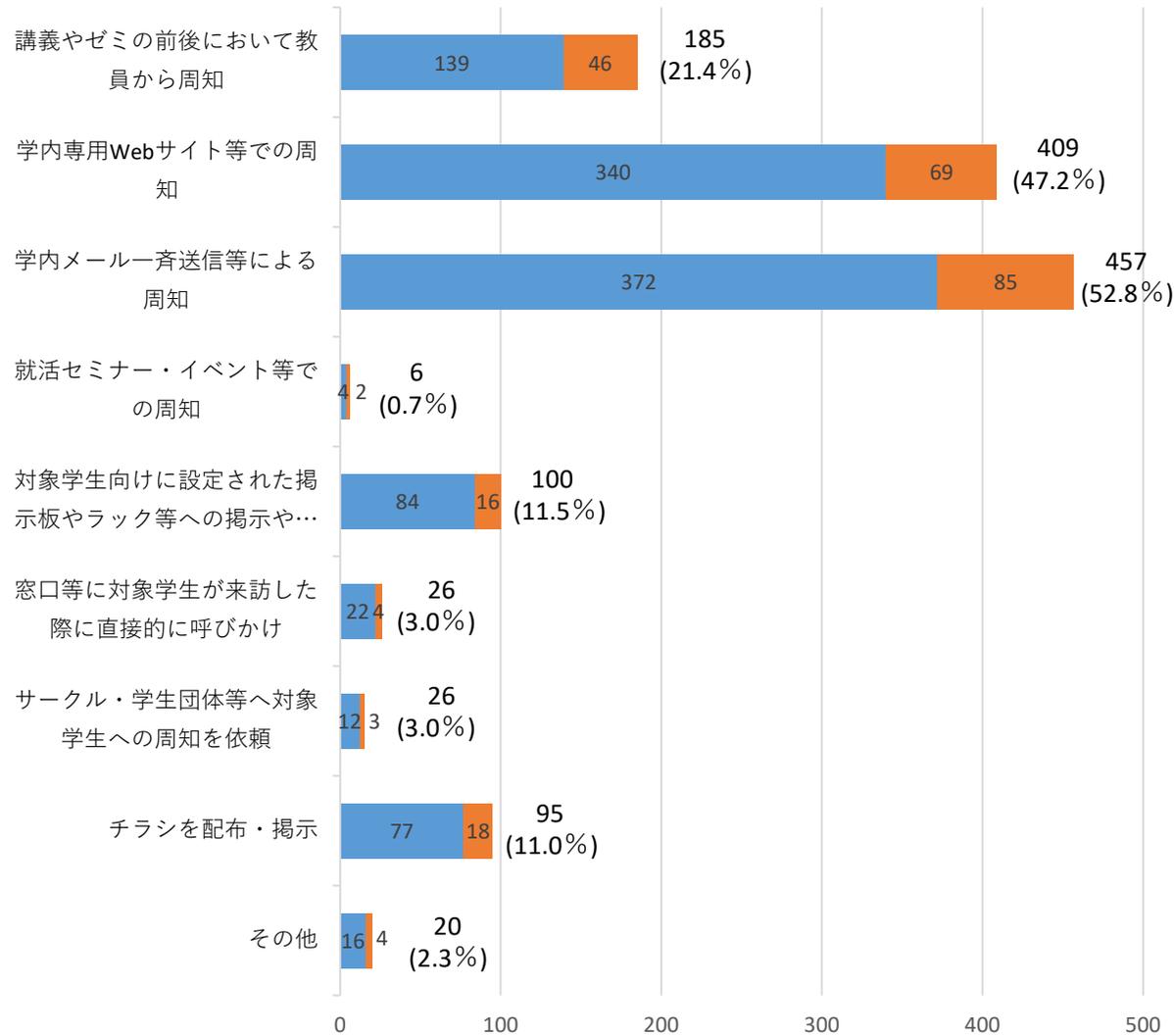


※百分率の母数はアンケート回答校数

これまでに行ってきた試行実施における学生への案内方法

学生への案内方法（大学・短大）

学生への案内方法（大学・短大）

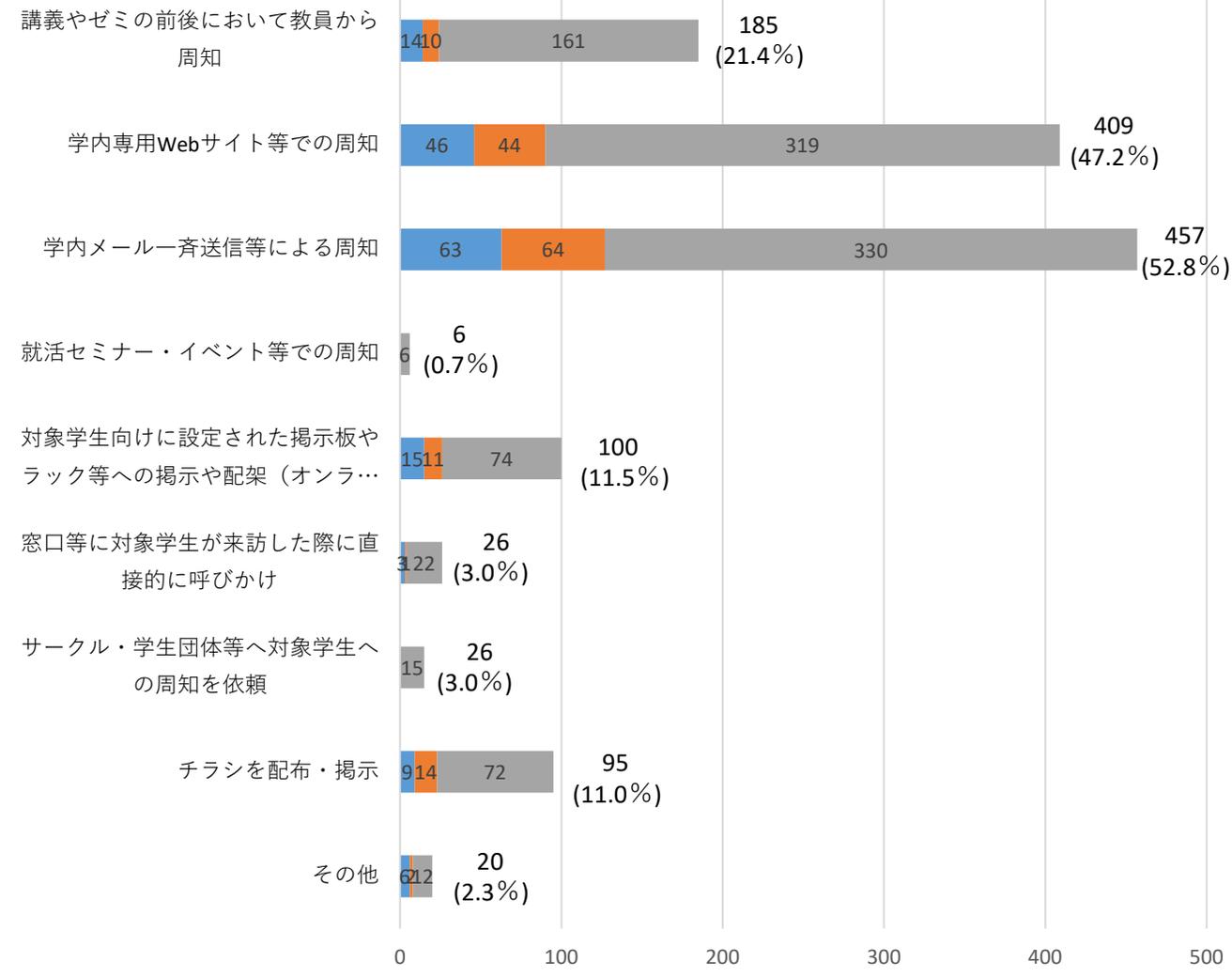


※百分率の母数はアンケート回答校数

■ 大学 ■ 短期大学

学生への案内方法（国公私別）

学生への案内方法（国公私別）



■ 国立 ■ 公立 ■ 私立

これまでに行ってきた試行実施における学生への案内方法（回答率が高い大学の取り組み事例）

A国立大学【回答率：57%】

学習管理システム（LMS）に専用コースサイトを作り、回答URLを学生に通知し、アクセスしていない学生に何度も催促した。

B公立大学【回答率：32%】

全学の教務委員会で学生への周知を依頼し、ゼミや必修科目において担当教員から学生に周知した。

C私立大学【回答率：77%】

アドバイザー制を採用しており、各ゼミや授業の際に担当教員から学生に対し調査の趣旨を説明した上で、回答依頼を行っている。また毎年の調査において、教員自身が調査の趣旨をよく理解した上で学生に依頼できるよう、教員向けの事前説明の場を設けている。

D私立大学【回答率：65%】

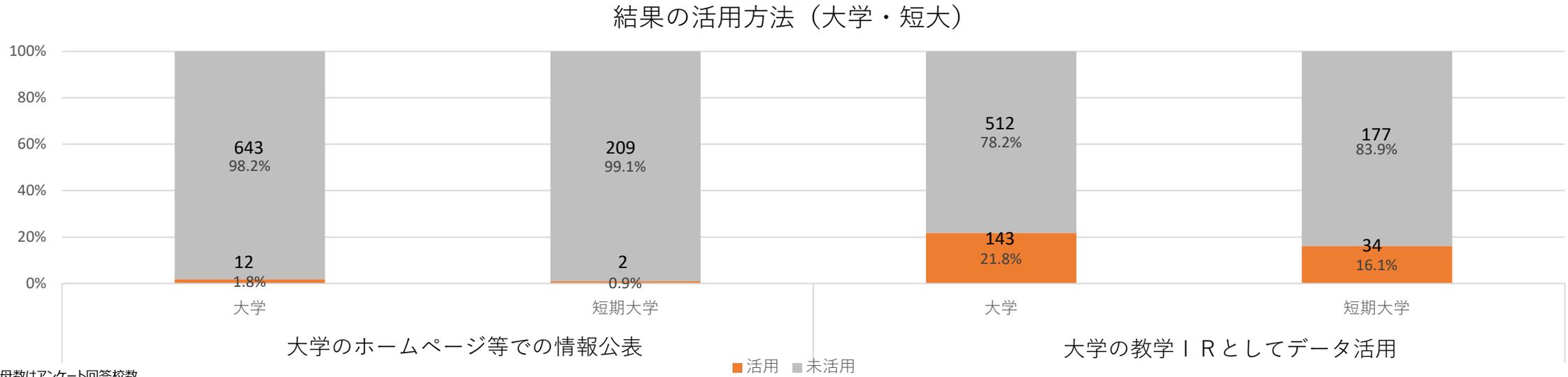
調査結果を自己点検評価や教学IRに活用するため、大学全体の回答率80%を目指し、各教員を通じて、ゼミ単位で学生に回答を依頼した。また、文科省に回答状況を問い合わせ、回答率が低い学部にも再度依頼をした。

E短期大学【回答率：83%】

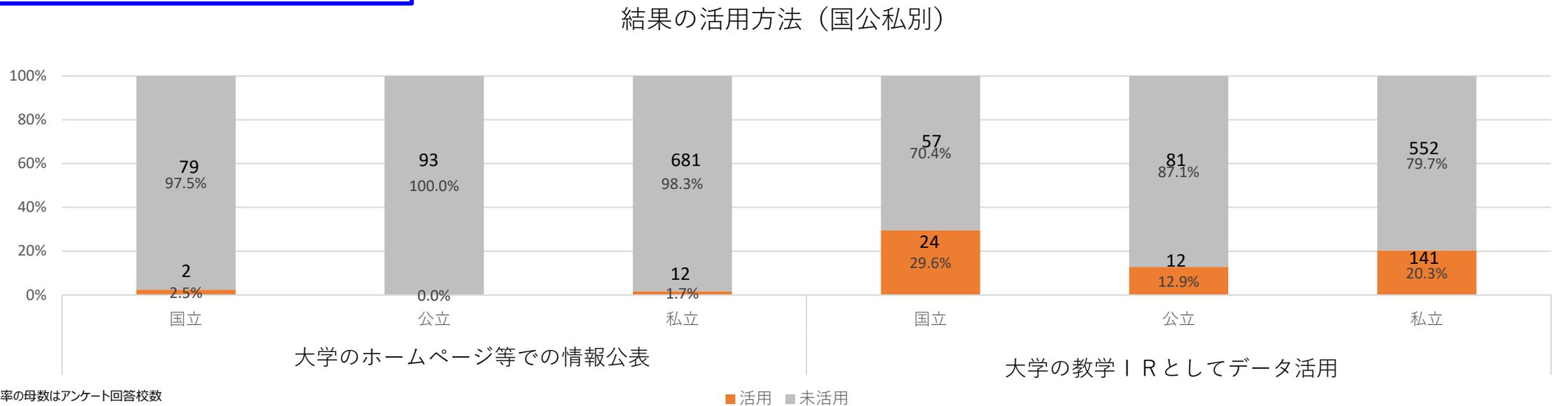
全員に出席を要する学期末のガイダンス内で回答する時間を作っている。

これまでに行ってきた試行実施における結果の活用方法（情報公表、教学IR）

結果の活用方法（大学・短大）



結果の活用方法（国公私別）



これまでに行ってきた試行実施における結果の活用方法（自由記述抜粋）

【大学コンソーシアムでの共有】

- 産学官連携で組織されている地域大学コンソーシアム内の教育連携のプラットフォーム形成推進委員会において、「全国学生調査（試行実施）」の回答データを共有し、県内の大学の特長や課題を探した。

【ベンチマーク（自大学の弱み分析）】

- 学内の複数の主要会議（学長や部局長等が参加する会議のほか、教育の質保証会議、教務系会議）において、学部別比較や国立大学平均との比較分析結果を報告している。また本学の弱みとなっている部分については具体的な改善策を検討するなど、本学の教育改善に活用している。
- 全学会議にて全国大学との調査結果の比較を行い、また各学部の教学系会議等にて全国平均より劣っている項目について分析し、改善策を検討した。
- 全国平均値をベンチマークとして、本学の学生の学習支援体制への満足度、身についた能力、大学での経験を全国平均値と比較し、本学の弱いところを委員会にて協議し、教員へフィードバックしている。

【FD・SD、自己点検・評価】

- 設置者別、規模別、分野別のデータが提供されるため、自大学との比較データをまとめ、FD委員会や教授会等に提供している。
- 調査結果を IR 分析や FD・SD 活動、自己点検・評価に活用予定